

## エス・エヌ・ケー・テクノなど大賞

### 県が日本環境経営大賞受賞者発表

県は二十八日、第十回日本環境経営大賞の受賞者を発表した。全国から四十六件の応募があり、学識者十人でつくる同大賞表彰委員会（委員長・山本良一東京大学名誉教授）が審査に当たった。県内からは、廃油や廃酸、廃

アルカリなど産業廃棄物をセメント工場の補助燃料に出荷している「エス・エヌ・ケー・テクノ」（四日市市清水町）が環境経営パール大賞を受賞した。

同大賞は、県が平成十四年度に創設し、これまで百三十八組織を表彰してきた。応募件数は、第四回が二百十四件あり、最多だったが、第八回以降は百件を切り、今回は前回は二十一件下回って最低だった。

受賞は次の通り。

【環境経営部門】環境経営パール大賞Ⅱ前田建設（東京都）エス・エヌ・ケー・テクノ（四日市市）▽環境経営優秀賞Ⅱ京セラ福島棚倉工場（福島県）工藤建設（岩手県）大地を守る会（千葉県）

【環境価値創造部門】環

境価値創造パール大賞Ⅱ前川製作所（東京都）、早稲田摂陵中学校・高等学校（大阪府）、新晃工業（大阪府）、ピーエス工業（東京都）、寺田鉄工所（広島県）、大成建設（東京都）の六組織の連携▽EVコミュニティ・えこりは（東京都）

【CO<sub>2</sub>削減部門】CO<sub>2</sub>削減パール大賞Ⅱ阿寒グランドホテル（北海道）

【表彰委員会特別賞】淨英会恵和保育園（新潟県）正和電工（北海道）